

建国1300年を どんな年に したいですか？



居原田 1300年という長い歴史の中で、いくつもの文化や伝統、歴史、産業が継承されてきたことは、私たちが子どもを守り育てるという行為や感情に通じるものではないかと思えます。この「継承」という言葉が一つのキーワードだと思います。学校・家庭・社会が手をつなぎ合って生きていく津山市の教育の基本理念「つなげる・つながる教育」を継承していく年にしたいですね。

竹内 建国1300年記念事業は「み」「ま」「さ」「か」の言葉を当てはめた基本理念によって推進されて



キーワードは継承

津山市教育委員会 教育委員長
居原田 洋子さん

光岡 津山青年会議所では、まちづくりや人づくりの活動を行っています。建国1300年が、このまちについて改めて考え、地域を愛する気持ちを醸成し、人と人、地域と地域をつなぐネットワーク

「み」は「みまさかの始まり」。美作の地域の歴史や文化について理解を深めようというものです。「ま」は「まさかの発見」。自然や産業資源など固有の資源を見直そうというものです。「さ」は「さあ、つなごう」。歴史を振り返るだけでなく、10市町村の連携を広めようというものです。「か」は「感動！美作」。地域連携、広域連携で美作地域の振興を図ろうというものです。100年に一度という大きな事業であり、美作地域がまとまって推進していける1年にしたいですね。

牧野 建国1300年記念事業では、地域の歴史や文化をどうやって後世に伝え、地域の情報として発信していくかを、みんなで考えていくことが一番大切だと思っています。この機会に、地域の誇るべき文化や歴史をとことん追究していく必要がありますね。

竹内 身近な歴史や文化を次の時代へつなげていくことは大切ですね。このような観点から美作国建国1300年記念事業実行委員会では、子ども向けに歴史小冊子を作る事業を行っています。学校でも、子どもたちに活用してもらう予定にしています。

1300年記念事業は どんなことを しますか？



光岡 津山青年会議所では、頑丈な発砲スチロールを使って、実際の2分の1の高さで天守を復元し、しばらくの間、天守台に設置します。遠くからでも復元した天守が見えると思えますよ。青年会議所のメンバーやボランティアが中心になって、市民と作り上げていきます。

そして津山を、かつて譜代大名が治めていたという素晴らしい歴史などを理解し、地域愛へとつながっていかばと思えます。

また、同時に、子どもたちに津山城について、楽しみながら学んでもらう機会や、津山城の魅力を

誇りと愛着を持てる まちづくりを



津山青年会議所 理事長
光岡 宏文さん

クを作る機会になればと思います。地域の魅力を再発見し、情報を発信して、美作地域のファンを増やしていきたいですね。

市長 歴史や文化、地域資源を核にしたまちづくりを進めていくことが重要ですね。

津山の一番 誇れるものは 何ですか？



竹内 産業としての観光だと思えます。記念事業に参加し、さまざまな観光資源に触れることによって、津山の誇るべき歴史や文化が見い出せるのではないかと思います。観光を使い、みんなで一

丸となって津山をPRしていきたいですね。
牧野 津山には、わたしたちが気付いていないけれど、誇るべきものがたくさんあります。例えば、津山洋学資料館は国の宝だと思います。津山が輩出し、活躍した先人にもまつわる資料がたくさんあります。

光岡 津山の中心部に400年も前からずっとある津山城跡がランドマークだと思っています。城の話をする時、みんな生き生きとして話が弾みますよ。これはやはり、津山の誇れるものだと思います。子どもたちにも、城のことを中心に地域の良さを伝えていけたらと思います。津山城跡だけではなく、その周辺も再発見したいと思っています。



津山城跡(鶴山公園)

そして、今年は津山青年会議所が中心となり、中国地区の青年会議所が集まる大会を津山市で開催します。各地から多くのメンバーが集うこの機会に、真庭市や美作市の青年会議所とも連携して、美作国をはじめ、地域の魅力を発信していきたいですね。

牧野 建国当時に珍重されていたという牛乳を使った食べ物「醍醐」を再現します。

また、地元の特徴ある食材を使用した弁当を開発します。津山の食材を使用して作った弁当をイベントなどで来場者に食べてもらい、津山にはこんな食材があるんだ、津山の米は

こんなにおいしいんだと感じてもらうことに意義があると思っています。「津山の歴史と文化の再発見」という事業では、中山神社や美作国府跡、総社宮、洋学資料館などの観光ルートを考えて、バスやタクシーなどを活用して巡ります。また、PR用のパンフレットを作った配布し、ステッカーを車や名刺、企業の看板などに貼るなど、津山商工会議所をあげてPRしていきたいと思っています。



情報発信が大切 総力戦でPRを

津山商工会議所 会頭
牧野 大作さん

「いのこ」とは、11月の亥の日、子どもたちが歌いながら、漬物石ぐらいの石に縄をつないで引っぱりながら町内を回り、豊作や家内安全を祈願する行事です。



市長 津山城跡、洋学資料館など誇るべきものは多くあります。これらを生かして1300年記念事業が進められています。それぞれの団体が活気づいているのを感じています。

居原田 子どもたちに、身近な地域の伝統行事を受け継いでいくこともとても大切です。「いのこ」など、子ども会に残る行事は、自分が住む地域への理解と関心を伝えることができると思えますし、住んでいる地域の行事が受け継がれていることは、まさに誇れるものだと思います。